

ぼくをやめさせないで!

希望する

すべての子どもたちが

学童に入れるように!

子どもたちの生活の場がうばわれる!

- 「学童楽しい。でもやめなくてはいけないの?」
- 「キャンプや学童まつり…。もうできないの?」
- 「学童の人数が多いから、ぼくはやめさせられるの?」

楽しみや安心感がうばわれ、不安いっぱい生活に!

保護者の安心が奪われる!

- 「ひとりひとりの成長はちがうのに…。」
- 「一人でいて、事故や事件にあっていないだろうか…。」
- 「他の市は利用者が増えているから施設も増やしているのに…。」

仕事をしながら不安がいっぱい!

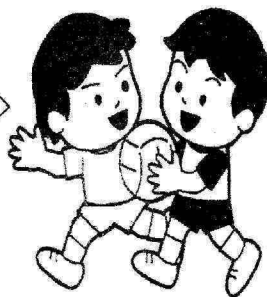
指導員の働く場がうばわれる!

- 「子どもが減って法人の収入が少なくなったら給料が減るの…。」
- 「保育料収入が減って、今でも低い指導員の待遇を維持できるのだろうか?」

長く働き続けられるのか、不安がいっぱい!



学童っ子は
10年前の
2倍ぐらい
増えている
んだね!!



松戸市の70人問題とは?

厚生労働省は少子化対策・大規模化(多人数)対策として、71名以上の施設には分割を推進し、利用者を増やす施策をとっています。そのため、2010年度に71名以上の施設に対する各自治体への補助金を廃止し、適正規模化(おおむね40名・最大70名)を促すための運営費補助金と施設整備費の予算を確保しています。

一方で松戸市は松戸市放課後児童クラブ法人連絡協議会で2008年12月に「2010年度より高学年を含む71名以上の施設には補助金を法人に交付しない」「対象児童を3年生までにすることを一致させてほしい」さらに2009年2月には「対象児童を3年生までという提案を切り離して、年間の平均人数を70名以下にする覚書を取り交わしてほしい」という主旨の提案がありました。

このことは学童保育関係者にとって大きな不安を抱かせるものです。利用者を抑制するような施策は全国的にもあまりなく、松戸市独自の70人問題です。子どもたち・保護者・指導員が安心できる施策が必要です。

松戸の学童保育をよくする会 —希望するすべての子どもたちが入れる学童保育所を作る松戸の会—

世話人団体: 松戸市学童保育連絡協議会・NPO法人松戸市学童保育の会

連絡先 : 080-3368-0041 m-shirenkyo@jcom.home.ne.jp (池田)

